

なかよし 2 組 (自閉症・情緒障がい学級) 国語科学習指導案

場 所 なかよし 2 組教室

1 単元名 ことばとなかよし (課題別学習)

2 課題名 C 児…えんぴつとなかよし (せんとひらがな)
D 児…カタカナをおぼえよう
E 児…かん字をおぼえよう

3 単元のねらい

C 児

【関心・意欲・態度】…活動の途中であきらめず、最後までやり遂げることができる。

【読むこと】…課題を声に出して読むことができる。カードを見て、物の名前を言うことができる。

【書くこと】…プリントの線や平仮名をなぞることができる。

D 児

【関心・意欲・態度】…自分の課題を一人で最後まで行うことができる。

【読むこと】…課題を声に出して読むことができる。片仮名を読むことができる。

【書くこと】…片仮名や 1 年生で習う漢字をプリントやノートに書くことができる。

E 児

【関心・意欲・態度】…自分の課題を一人で最後まで行うことができる。

【読むこと】…課題を声に出して読むことができる。1 年生で習う漢字を読むことができる。

【書くこと】…1 年生で習う漢字をプリントやノートに書くことができる。

4 主な言語活動 (内容 (4) 「読むこと」「書くこと」の言語活動例)

特別支援学校学習指導要領解説 総則等編より

C 児 1 段階 (4) いろいろな筆記用具を使って書くことに親しむ。
2 段階 (4) 文字を書くことに興味をもつ。

D 児 2 段階 (3) 文字などに関心をもち、読もうとする。
3 段階 (4) 簡単な語句や短い文を片仮名で書く。

E 児 2 段階 (3) 文字などに関心をもち、読もうとする。
3 段階 (4) 簡単な語句や短い文を平仮名などで書く。

5 特別支援学級における研究テーマに関わって

特別支援学級における課題別学習の追究 ～時間・教室空間・学習方法の構造化～

通常学級在籍の児童とは実態や特性が違いため、通常学級の研究主題とは別に、特別支援学級独自の研究主題を設定し、研究を進めてきた。なかよし 1 組（知的障がい学級）となかよし 2 組（自閉症・情緒障がい学級）では、特別支援学級の利点である「個のニーズに応じた指導・援助」の効果的な在り方を探るため、課題別学習に取り組んでいる。

課題別学習のゴールは、「児童が自力でやり抜くこと」である。児童が自力でやり遂げる中で、国語の基礎的・基本的な内容や技能を習得すると共に、成功経験を重ね、自己肯定感や自尊感情を高めて、「できる」という自信をもたせたいと考えている。

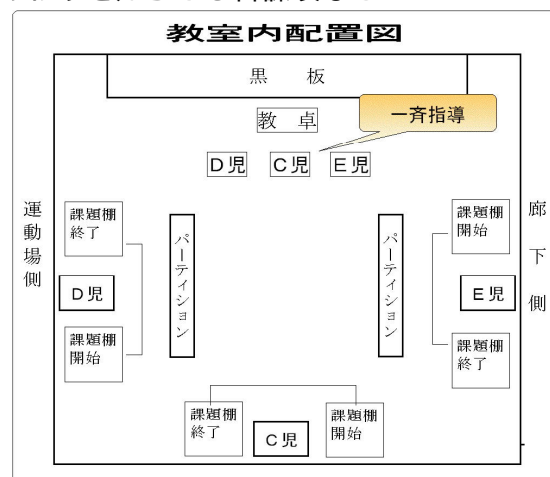
なかよし 2 組では、自閉症児の認知特性を踏まえ、「構造化」をキーワードに、次の 4 点を実践してきた。

時間の構造化 ～見通しをもたせ、はじめとおわりを知らせる日課表など～

- ・ 時間感覚をもたせ、はじめとおわりを知らせるために、次の支援をしている。毎日の生活に見通しがもてるように、視覚的支援として、日課表を掲示した。帰りの会では、C 児が個別の明日の予定を貼るようにした。

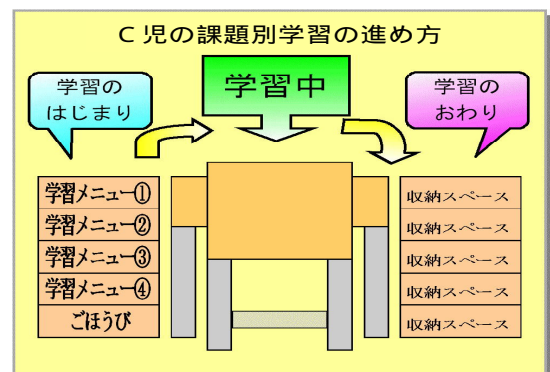
教室空間の構造化 ～教室全体の構造化～

- ・ 活動と場所を一対一対応することで、活動の意味や内容をより理解しやすくした。
- ・ 右図の教室内配置図にあるように、一斉指導は教室の前方で行い、課題別学習は教室の 3 カ所に分かれて、各自が壁側に向かって学習する。
- ・ 児童が集中して取り組めるように、パーティションで学習空間を区切った。



学習方法の構造化 ～課題別学習システムの導入～

- ・ 教室全体を構造化した上で、特別支援学校の学習活動を参考にして、右図のような課題別学習システムを導入した。左側に学習メニュー～を収納した棚があり、上から順に取り組む。児童の集中力が続くように、学習メニューは短時間で取り組めるメニューにした。ひとつのメニューが終わったら、収納スペースである右の棚へ移す。こうすることで、「学習のはじまり」と「学習のおわり」が体験的に分かるようにした。
- ・ 課題別学習システムでは、児童の実態に応じて、「児童が自力でやり切る活動」と、「教師の個別支援により進める活動」とをバランスよくプログラムしている。
- ・ C 児は、課題別学習のやり方に慣れつつあるところである。
- ・ D 児、E 児は、調子がよいとき、気分がよいときは、集中して取り組めることが多い。
- ・ 全体としては、少しずつ集中して取り組めるようになってきたところである。学習メニューについては逐次評価し、見直して、学習メニューを更新することになっている。



図やイラスト、写真を使った視覚的支援

- ・ 「視覚からの情報が得やすい」という特性を踏まえ、視覚的支援をする。図やイラスト、写真を使って、学習方法を示す。

6 単元指導計画（全 5 時間）

時間	C 児 学習活動	C 児 への支援	D 児 学習活動	D 児 への支援	E 児 学習活動	E 児 への支援
1	- 鉛筆を持ってぐるぐる書きをする。 - 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。	- 絵カード等の視覚的支援を活用し、分かりやすい教材を使用する。 - 教師が発声した音声を声に出して読む。	- 片仮名を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- 文字やカードや絵など視覚的支援を活用し、分かりやすい教材を使用する。 - 一文字ずつ読むように言う。	- 片仮名を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- 文字やカードや絵など、視覚的支援を活用し、分かりやすい教材を使用する。 - 一文字ずつ読むように言う。
2	- 鉛筆でなぞって、まっすぐな線を書く。 - 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。 - 線をつなぐ。 - 平仮名をなぞる。	- 絵カードが発音できにくかったら、手で拍を打つなどしてリズムを感じ取らせる。 - 同じ文字を見分けて、合わせるようにする。	- 片仮名を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。 - 言われた物の名前を読んだり書いたりする。	- 発音できにくい片仮名は、教師の後について言うようにする。 - 見通しがもてるように、今日やる課題を提示する。進行状態が分かるように、できたら自分でカードを変える。	- 片仮名を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。 - 言われた物の名前を読んだり書いたりする。	- 発音できにくい片仮名は、教師の後について言うようにする。 - 見通しがもてるように、今日やる課題を提示し、進行状態が分かるように、できたら自分でカードを変える。
3 本時	- 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。 - 鉛筆でなぞって円など丸い線を書く。 - 平仮名をなぞる。	- 見通しがもてるように順番を提示する。進行状態が分かるように、できたら自分でカードを変える。 - 児童が好み、発達段階に合った操作性の高い課題を取り入れる。	- 片仮名を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- 読み・書きなど変化があるような学習課題にする。 - 一緒に答え合わせするなどして、その都度確認する。	- 漢字を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- 読み・書きなど変化があるような学習課題にする。 - 一緒に答え合わせするなどして、その都度確認する。
4	- 鉛筆でなぞって線や丸などを書く。 - 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。 - 名前を並べる。 - 平仮名をなぞる。	- 読み・書きなど変化があるような学習課題にする。 - ブレイクタイム（デザートの課題）にパズルを行う。	- 片仮名を文字とマッチングさせて読む。 - 漢字を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- できたら、認め励ます。そして、本時への意欲化をはかる。 - 一つでも覚えさせたいので 10 くらいを目やずに最後までやらせる。	- 漢字を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- できたら、認め励ます。そして、本時への意欲化をはかる。 - 一つでも覚えさせたいので 10 くらいを目やずに最後までやらせる。
5	- 鉛筆でなぞって線や丸などを書く。 - 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。 - 名前を並べる。 - 平仮名をなぞる。		- 片仮名を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。 - 漢字を文字とマッチングさせて読む。	- ノートにも手本を見て書いて覚えるようにする。 - 言葉かけのタイミングを見計らう。 - ブレイクタイム（デザートの課題）にパズルを行う。	- 漢字を文字とマッチングさせて読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- 言葉かけのタイミングを見計らう。 - ブレイクタイム（デザートの課題）にパズルを行う。

7 本時のねらい

C 児のねらい・・・筆記用具を持って、書くことに興味をもたせる。
身近な物の名前を言うことができる。

D 児のねらい・・・片仮名とその読み方を一致させ、片仮名の読みを練習し、手本を見て書くことができる。

E 児のねらい・・・漢字とその読み方を一致させ、漢字の読みを練習し、手本を見て書くことができる。

8 本時の展開 (3 / 5)

過程	C 児 学 習 活 動	D 児 学 習 活 動	E 児 学 習 活 動
つかむ	1 学習課題を確認する。 えんぴつとなかよくなるう。 支援 1 まず教師が先行して課題を読み上げ、発音のモデルを示す。	1 学習課題を確認する。 カタカナをおぼえよう。 支援 1 教師が課題を指でたどり、課題を読むよう指示する。	1 学習課題を確認する。 かん字をおぼえよう。 支援 1 教師が課題を指でたどり、課題を読むよう指示する。
深める	2 課題別に学習する。 教師と学習 絵カードを見て名前を言う。 支援 2 間違えたとき・困っているときは教師が声に出して正しい発音を教え、教師の後に続いて発音するよう指示する。 絵カードと物の名前をマッチングする。 支援 3 マッチングできていない場合は、カードを指差したり少し動かしたりして、手がかりを示す。 自分の名前を積み木の字とマッチングさせる。 支援 4 平仮名を教師と一緒に読み上げて、発音のモデルを示す。 一人で学習 プリントの線を鉛筆でなぞる。 プリントの平仮名を線でなぞる。 支援 5 マーカーの上をきちんとなぞっているか、見届ける。 ブレイクタイム(時間があれば) パズルをやる。	2 課題別に学習する。 一人で学習 片仮名と平仮名をマッチングして、片仮名を読む。 プリントの片仮名を練習する。 ドリルで片仮名の練習をする。 ノートに片仮名の練習をする。 支援 2 集中を切らし、注意が散漫になっていたら、カードを指差したり少し動かしたりして、活動するように促す。 教師と学習 マッチングなどの答え合わせをする。 支援 3 できたら、「できたね。」と声をかけてほめる。 プリント・ドリル、ノートの採点をする。 支援 4 教師と共に答え合わせをして、正誤を示し、やり直すところは再度やるよう指示する。 ブレイクタイム(時間があれば) パズルをやる。	2 課題別に学習する。 一人で学習 漢字と読み仮名をマッチングして、漢字を読む。 プリントの漢字を練習する。 ドリルの漢字の練習をする。 ノートの漢字の練習をする。 支援 2 困っていたら、カードを指差したり少し動かしたりして、手がかりを示す。または助言する。 教師と学習 マッチングなどの答え合わせをする。 支援 3 できたら、「全部できたね。」「合っていたね。」など声をかけてほめる。 プリント・ドリル、ノートの採点をする。 支援 4 教師と共に答え合わせをして、正誤を示し、やり直すところは再度やるよう指示する。 ブレイクタイム(時間があれば) パズルをやる。
まとめる	4 今日の学習を振り返る。 ・特にがんばったことを話す。 支援 6 特にがんばったことを認め励ます。	4 今日の学習を振り返る。 ・特にがんばったことを話す。 支援 5 特にがんばったことを認め励ます。	4 今日の学習を振り返る。 ・特にがんばったことを話す。 支援 5 特にがんばったことを認め励ます。